



京都切り絵歳時記



平成17年度京のアジェンダ21フォーラム総会を開催 フォーラム発足7年目、次の展開に向けて

平成17年度京のアジェンダ21フォーラム総会を、下記の通り開催いたします。2005年は、2月の京都議定書発効、4月の京都市地球温暖化対策条例（以下、条例）施行という、大きな歴史の転換期となりました。そこで、フォーラムのこれまでの成果を振り返り、次の展開に向けた方向性を確認する総会にしたいと思いますので、会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

議事に引き続き、第二部では京都議定書と条例について知っていただくセミナーを開催します。

また、第三部では、交流会「サロン de エコ」を開催します。和やかな雰囲気の中で、会員やワーキンググループ（WG）メンバー間の交流や連携が生まれるかもしれません。

その他、WGの活動を紹介するとともに、京都議定書や条例との関係の中で、フォーラムとして、またWGとして何をすべきか、ということなども話し合う機会を作りたいと思います。

詳細は、フォーラムホームページや事務局ブログ（<http://ma21f.wablog.com/>）などでも随時お知らせしていきます。

なお、第一部の総会については出欠返事が必要です。出欠票は後日送付させていただきますので、ご返信のほど、よろしくお願ひします。

日時 平成17年6月25日（土）午後1時～3時半

場所 京エコロジーセンター（右地図参照）

●第一部 総会議事（内容は予定）
（フォーラム会員対象。午後1時～1時50分 於シアター）

主な議題（予定）

1. 16年度事業報告と決算報告
2. 17年度全体の事業方針、事業計画と予算
3. 役員改選について 等

●第二部 セミナー

「いまさら聞けない京都議定書と京都市地球温暖化対策条例」
（議事終了後40分程度。参加自由。於シアター）

●第三部 交流会「サロン de エコ」

（会員任意。午後2時半～3時半 於活動支援室）

会員相互の活動交流や、フォーラムの活動について紹介説明などを行います。

参加費（第三部参加者のみ）：300円（お茶菓子付）



「京都市地球温暖化防止フォーラム」を開催 キョピーとハイムーン、地球温暖化問題を語る

いよいよ4月1日、京都市地球温暖化対策条例が施行されました。そこで、条例の内容をわかりやすく紹介し、日常生活で温暖化防止に取り組むための情報が満載の催しを開催します。

午後1時半頃からは、環境漫画家ハイムーンこと、高月紘氏と、αステーションのDJでおなじみキョピーこと、谷口キョコさんによるトーク&スライドショーなど、イベントも盛りだくさん。子供から大人まで1日楽しめます。お気軽にお越しください。

日時 6月12日（日）午前11時～午後4時

場所 京都市勧業館みやこめっせ地下第一展示場

（市バス「京都府美術館前」下車、
地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩7分）

主催 京都市

共催 京のアジェンダ21フォーラム、京エコロジーセンター
内容 ・トーク&スライドショー

「なるほど！エコライフセミナー」

（13:30頃からショーが始まります）

講師：高月紘氏（京エコロジーセンター館長、環境漫画家）

総司会：谷口キョコさん（ラジオパーソナリティ）

・ステージイベント

「魔法戦隊

マジレンジャーショー」

・展示・体験コーナー 等

入場無料（事前申込不要）

問合せ先

京都市地球温暖化対策課

TEL:075-222-3452



Agenda Forum
6月のミーティングと
主催行事の予定

3日（金）午前10時～ 企業活動WG 運営会議（於：職員会館かもがわ）

8日（水）午後7時～ エコミュージアムWG 大原野プロジェクト会議（於：大原野自治会館）

12日（日）午前11時～ 京都市地球温暖化防止フォーラム（於：京都市勧業館みやこめっせ）

25日（土）午後1時～ 平成17年度総会（於：京エコロジーセンター 詳細上記）



えこまつりWG 2004年度活動報告

えこまつりワーキンググループでは、平成16年度、主に以下の課題について取り組みました。

●えこまつりのサポート体制の検討

「リターナブル容器システムの運営には人手の確保と養成が必要である」ことが平成15年度の課題として残っていたので、「いかに地域において人材を養成・調達し、広げていくことができるか」をテーマに、WG内に「えこまつりサポート体制研究会」を設置し、具体的な検討と実践を行いました。主には「えこまつりサポーター養成講座Vol.1」と題し、3回連続講座を市民向けに開催。それと同時に、地域のえこまつり普及・拡大にあたり、協力して下さる方々に「えこまつりサポート体制検討委員」になっていただき、現状の共有とこれからについて議論を行ってききました。実際、えこまつりのサポート体制を地域において構築するためには、コスト面での負担をいかに少なくするかが課題として残り、引き続き今年度も検討を行っていくこととしました。

●事業化に向けた車両とロゴマークの開発

市民へのコスト面での負担を減らすと同時に、システムとして地域に根付かせ普及を計ることを目的として、食器洗浄機搭載車の開発に取り組みました。この取組は総合デザイン会社であるGK京都と共に戦略を練り、環境省や(財)地球・人間環境フォーラムの協力のもと行いました。

それと同時に全国で使用する「リユースマーク」の開発に取り組み、京都からリユースの発信を行う基盤整理を行いました。

本年度4月1日には「環境対策支援便RE-ECO」が発表されました。これはNPO地域環境デザイン研究所ecotoneと京都ラジオカフェ(株)が主体となって、前述の車両を使って開発した環境対策

支援事業で、これからの展開が注目されています。

●全国の取組のネットワーク創出

3月に新潟で開催された「第2回リユース食器フォーラム」にて京都の取組を発表すると同時に、ネットワークとして、リユース食器の普及・拡大を計っていくための課題の整理と方策について議論しました。

(<http://www.reuse-network.jp/>)

本年度は京都でのリユース食器フォーラム開催に向けて目下準備中です。

WG活動も今年で5年目となり、年々「えこまつり」の輪が広がっていていることを実感しています。えこまつりWGでは、さらなる活動の発展に向けて頑張っていきますので、本年度もどうぞよろしくお願いします。

(えこまつりWGコーディネーター
太田航平)



エコミュージアムWG 2004年度活動報告

エコミュージアムWGでは、平成16年度も引き続き大原野森林公園での活動を中心にし、主に下記3つの活動を行いました。

●公園の展示ポスターの作成

公園内の施設である森の案内所に張るA1版の展示ポスターを10枚作成しました。公園の東尾根、西尾根ルートにおける四季の見所紹介や、周辺地域の案内、公園で行っている炭焼きの説明とともに、近隣集落の外畑(とのはた)、出灰(いずりは)という山里の、伝統的な環境負荷の少ない生活を、農事暦などを使ってわかりやすく解説しました。

●紹介ビデオの制作

十数分間のビデオでは、公園内の動植物や炭焼きなどをとりあげ、小学生にもわかりやすい内容を心がけてつくりました。

●公園を対象とする木質バイオマス調査

連携団体とともに経済産業省のバイオマス等未活用エネルギー事業調査補助事業を受けて、「多様な主体の協働による汎用性の高い小型ガス化システム導入事業化調査」を行い、植生調査、ボランティアによる丸太の集材実験、丸太をそのまま燃料として燃やせるドイツ製のボイラーの導入可能性の検討、CO2の吸収効果の算出などを行いました。この調査により緻密な基礎データを蓄積し、丸太ボイラーの導入が適切なことがわかりましたが、導入のためには、今後関係団体間での調整が必要です。

(エコミュージアムWGコーディネーター笹谷康之)

< KES 認証事業部より > ★ 5月の新規認証取得 2005年6月1日現在

※確認審査合格企業の詳細については、ホームページ(<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>)をご参照ください。

●ステップ1

- KES1-0303 株式会社金山精機製作所(京都市山科区)
- KES1-0304 株式会社共和(京都市南区)
- KES1-0305 京都パックス株式会社(京都市伏見区)
- KES1-0306 株式会社栗田製作所(群馬県富岡市)
- KES1-0307 豊澄グループ 豊澄電源機器(株)・(株)豊澄(東京都文京区、埼玉県大里郡川本町)
- KES1-0308 株式会社安田(京都市南区)
- KES1-0309 アイジェイ株式会社(京都市南区)
- KES1-0310 株式会社カワオカ製作所(京都府久世郡久御山町))

●ステップ2

- KES2-0129 株式会社三紀善(三重県北牟婁郡紀伊長島町)
- KES2-0131 株式会社日本マイクロニクス(東京都武蔵野市 青森工場・松崎工場:青森県南津軽郡平賀町)
- KES2-0132 株式会社メイホー電子部品事業部(福岡県直方市)
- KES2-0133 有限会社ケイ・エイチ・エム(滋賀県草津市)
- KES2-0134 株式会社澤渡製作所(京都市南区)
- KES2-0135 株式会社坂井印刷所(大阪府寝屋川市、大阪市都島区)



事務局短信

前月号からレイアウトを北村龍太さんにさせていただいています。今月号からイラストが増えて楽しい感じになったと思いませんか? (滋野浩毅) / 先月ブログにはまっていると報告したばかりなのに、すでに更新は途絶え気味。でも、毎日周りを見る目は少し変化したようです。紫陽花の蕾がほころびはじめましたね。(竹村光世) / 「国家の偉大さや道徳の水準は、その国で動物がどのように扱われているかによって判断できる(マハトマ・ガンジー)」今月から特定外来生物法施行。輸入規制が不十分なまま殺されていく外来動物達は、日本をどう思うだろう。(小山直美)